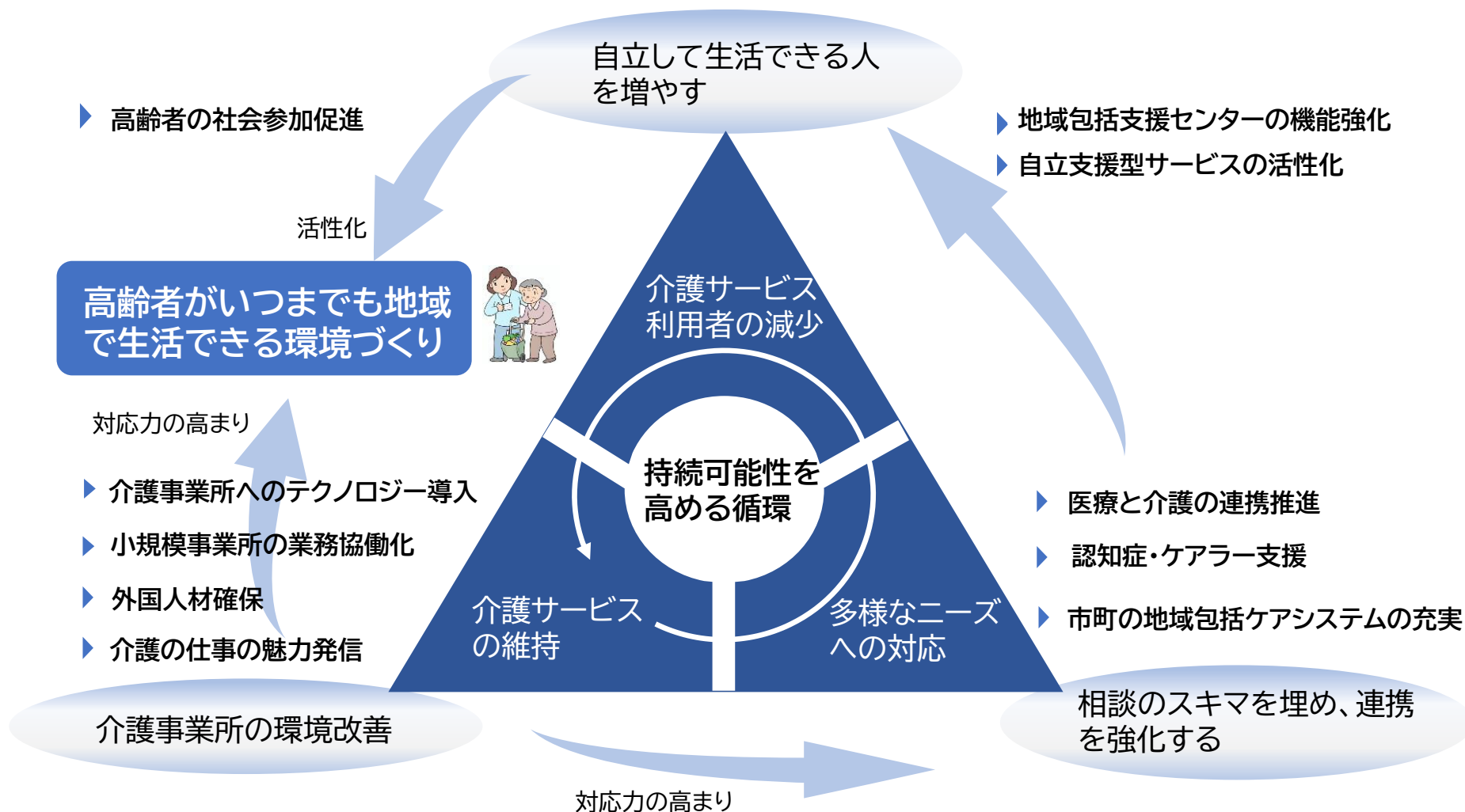
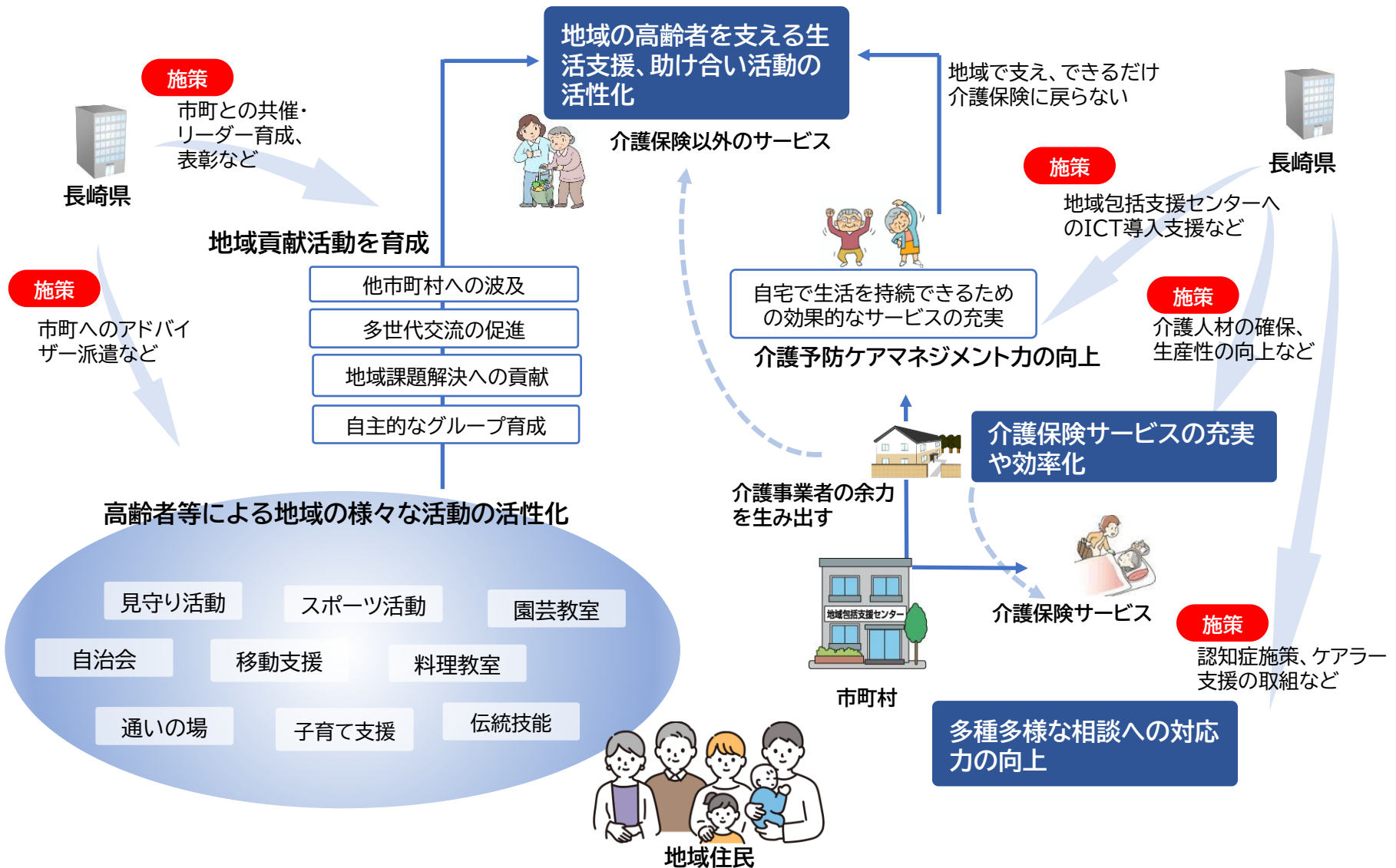


高齢化が進み、担い手が減少していく中で、地域社会の活性化と介護サービスを持続可能にする取組を両立することが重要です。



長崎県では、高齢者の社会参加や介護予防、介護事業者への支援について、好循環につながるよう意識して取組を進めています。



長崎県ケアラー支援シンポジウム2025

▶ 令和7年 **11/15** (土) ▶ 場所 県庁302～305会議室

高齢や障害、病気などにより援助を必要とする家族や身近な人に対して、無償で介護や看護、日常生活上のお世話をしているケアラーが、だれにも頼れずに孤立したり、心身が疲弊してしまうことが問題となっています。少子高齢化や核家族化などが原因で、ケアラーひとりひとりにかかる負担は以前よりも大きくなっています。

そのような中、長崎県では2023年4月にケアラー支援条例を施行しました。ケアラーが援助を受ける人とともに、安心して人生を送ることが出来る地域共生社会の実現を目指し、県民向けのシンポジウムを開催します。

基調講演

「介護離職問題から考えるケアラーへの支援について」

株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役
和氣 美枝 氏

セミナーA

「支援が必要な子どもを持つ
ケアラーに対する支援について」

NPO法人長崎ファミリーハウス 副理事長
多田 ひとみ 氏
高次脳機能障害小児家族会
「よりよりホームズ」副会長
西川 友子 氏

セミナーB

「ヤングケアラー支援について考える
～『子どもの貧困』の視点から～」

長崎大学教育学部 准教授
小西 祐馬 氏

【司会・コーディネーター】

社会福祉士事務所 まきの木 代表 毛利 真紀 氏

▶ 申込などの詳細



長崎県ホームページ>ケアラー支援
に関する長崎県の取組

長崎県認知症理解促進セミナー

▶ 令和7年 **11/16** (日)

▶ 場所 長崎大学文教キャンパス中部講堂
(長崎市文教町1-14)

令和6年1月1日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。
「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」
共生社会の実現を推進するため、映画や講演を通じて、この「新しい認知症観」について考えます。

講演



↑
**YouTube配信は
こちら**

「新しい認知症観」について考える

(一社) 全国認知症介護指導者ネットワーク
代表 森 俊輔 氏

全国各地で認知症への理解促進や啓発活動に取り組むほか、
長崎県認知症介護指導者、長崎県オレンジチューターとしても活躍中。



□ YouTube配信 (申込不要)

※当日は左のQRコードからご視聴ください。
※アーカイブ配信も12月16日(火)までご覧いただけます。

映画上映

※映画のYouTube
配信はありません

父と僕の終わらない歌

世界中に笑顔と希望を届けた感動の実話。アルツハイマー型認知症の父とその息子が奏でた奇跡。世界を感動させた奇跡の実話を映画化。

(劇場公開日 令和7年5月23日)



▶ 申込などの詳細



長崎県ホームページ>認知症対策

科学的介護フォーラム in 佐世保

▶ 令和8年 **1/29** (木)

▶ 場所 アルカスSASEBO

令和7年6月、(株)最中屋主催の同フォーラムを長崎に誘致し、官民間わず、介護現場の働き方改革、生産性向上における全国のトップランナーが集結し、事例紹介やシンポジウム等を行い、「選ばれる介護事業所」になるためのヒントを提供しました。今回は、先進的な取組を行う全国の介護事業所の皆様に「佐世保」に再結集していただき、最新の国の動きに関する情報提供、介護テクノロジーの最先端機器展示などとともに、「介護の質を高めると同時に、働く人々の環境を改善する」ためのフォーラムを開催します！

前回、長崎開催時の様子



▶ 申込などの詳細

Coming Soon

県のホームページ等でお知らせします。

介護の仕事体験イベント「キツザケアながさき」

▶ 令和8年 **2/1** (日)

▶ 場所 シーハットおおむら

昨年初めて開催し、3倍近くの申込があり大好評だった「キツザケアながさき」
今回は大村市で初開催！小学生、中学生の皆さんに介護現場の様々なお仕事を体験してもらい、その魅力を感じてもらいます。

プレイバント **11/29(土)** 佐世保五番街

12/14(日) 長崎駅前かもめ広場

昨年チラシ



▶ 申込などの詳細

Coming Soon

県のホームページ等でお知らせします。

若手介護職員が語る介護への思い(仮)

▶ 令和8年 **2/24**(火)

▶ 場所 県庁大会議室

長崎県では、令和2年に「介護のしごと魅力伝道師」制度を創設しました。これまでに若手介護職員1～6期生が伝道師として認定され、現在、3～6期生47名が、県内各地の小中学校、高校での講演など、様々な場面で熱い思いを伝えています。今回、伝道師の中から「選ばれし伝道師」による、熱い思いのプレゼン大会を企画しました。どなたでも聞くことができます。2040年に向けて高齢化が進み、「介護」がさらに重要となる中、現場を支える若い人たちの生の声を聞く貴重な機会ですので、ぜひご参加ください！

県作成の魅力発信パンフレット「Ichigo Kaigo」から



▶ 申込などの詳細

Coming Soon

県のホームページ等でお知らせします。

もしものとき、あなたは どう過ごしたいですか？

▶ 11月30日(いい看取り、看取られ) は、「人生会議の日」



誰でも、いつでも大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫ると、約70%の方が、自分が望む医療やケアを伝えることができなくなるといわれています。だからこそ、前もって、「自分自身が望む 医療やケア」について考え、信頼できる人や医療・ケアチームと話し合うことが大切です。

この取組は、「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」と呼ばれています。

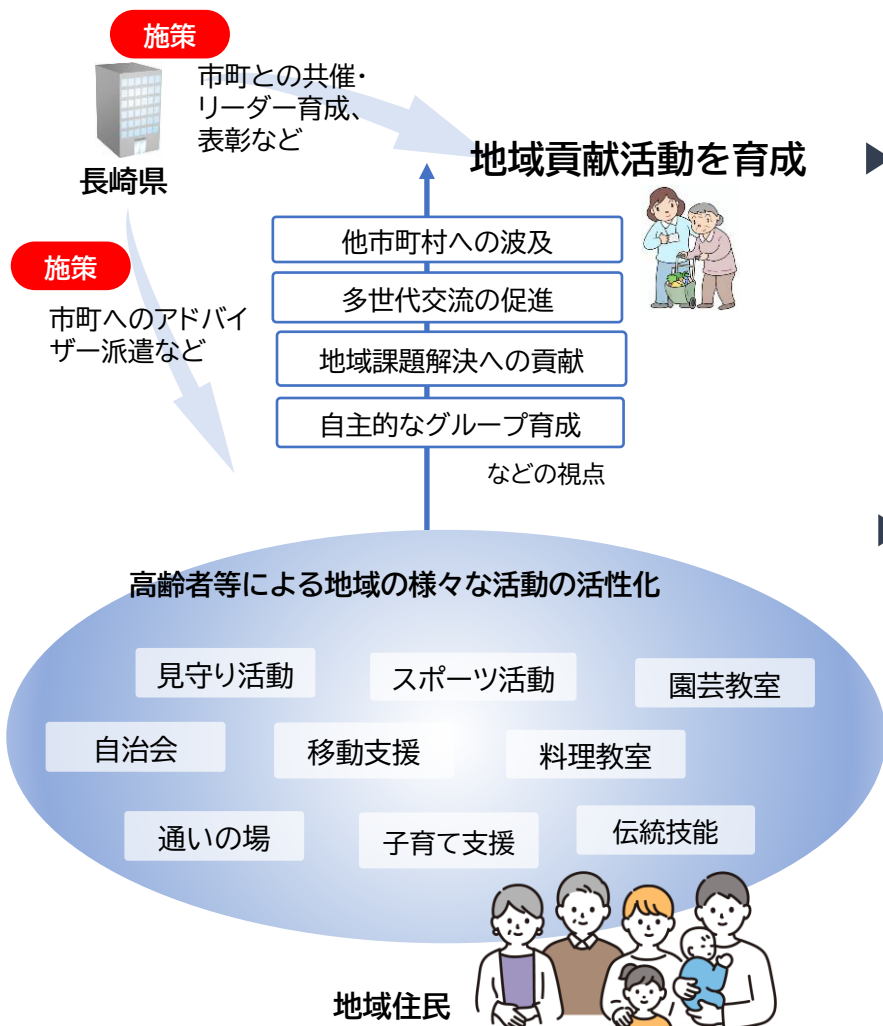


▶ 各市町の取組など



長崎県ホームページ>医療介護連携・ACP

市町と県がコラボ！ 高齢者の地域貢献活動



県では、高齢者の様々な社会参加活動を地域貢献活動につなげるため、市町との共催で住民主体の取組を支援しています！

▶ 9/9 熟年つんなむ農業塾」キックオフセミナー(長崎市)



▶ 6/7 「100年歩く体づくりを目指すセミナー」(南島原市)



▶ 11/22 「スマホで広がる社会参加」シニア×DXハイスクール(松浦市)

▶ 11/18 健康マージャンで介護予防！地域を元気に！(平戸市)



▶ 10/9 「みんなでやってみよう！スポーツウエルネス吹矢体験講習会」(雲仙市)

